



羽ばたけ 大空へ

# 蒼天

新聞財団

編集：鹿屋体育大学  
発行：公益財団法人鹿屋体育大学  
体育・スポーツ振興教育財団  
編集責任者：鹿屋体育大学長  
発行人（発行責任者）：財団理事長 風呂井 敬  
財団事務局：〒891-2393 鹿屋市白水町1番地内 0994-46-4827(直)

## メダルラッシュ!!

2023 日本学生陸上競技個人選手権大会 優勝

**男子砲丸投** 池田大晟さん

**男子三段跳** 水野皓太さん

日本学生陸上競技連盟が主催する、学生の個人日本一を決める「2023日本学生陸上競技個人選手権大会」(4月21〜23日、神奈川県モンススタジアム平塚)で、陸上競技部の池田大晟さん(スポーツ総合課程4年、東大和高等学校・東京)が砲丸投、水野皓太さん(同4年、三池高等学校・福岡)が三段跳で優勝しました。昨年の同大会では2人とも3位でしたが、「全体的な体力の向上とフォームの研究できないことをできるようにするにはどうしたらよいかをずっと試行錯誤しながら考え続けました(池田さん)」「スピードを上げるために足を速くするとジャンプの距離を伸ばすのが課題だと思っていたので、跳び方を変えてみたりしてそこを頑張りました(水野さん)のコメントの通り、1年間コツコツと積み上げてきた

努力が表り、2人そろって念願の日本一を手に入れることができました。卒業後は民間企業への就職が決まっている池田さんは「日本一になったことは素直にうれしかったし、自信にもつながりました。残りの大会でどこまで記録を伸ばせるかに挑戦したいと思えます(水野さん)」「中学・高校と毎年記録を更新できていたのに、初めてベストを出せなかったのが大学1年生の時でした。大学では伸びないかもと思っていたのですが、学年を重ねるごとに記録も上がってきて、今回日本一も取れたのいい経験ができました。卒業後も競技は続けていきたいと思っています」と、優勝の喜びと今後についてコメントしました。

**第77回全日本体操種目別選手権 優勝**

**男子種目** 金田希一さん

「第77回全日本体操種目別選手権」(6月10〜11日、国立代々木競技場第1体育館)において、体操競技部の金田希一さん(スポーツ総合課程4年、市立船橋高等学校・千葉群馬県出身)が男子種目別つり輪で優勝しました。昨年の同大会種目別つり輪では、惜しくも2位だった金田さん。4年生で最後の大会になる今年は、つり輪という種目で優勝したいという気持ちで入念に練習に取り組んできました。これまで指導してくださった

先生方、両親、鹿屋体育大学体操競技部を支援・応援してくださる方々に恩返しをしたいという思いもあって、審判の先生方に演技を評価してもらえて優勝できたことは素直にうれしかったです」と、日本一にこだわりの持った1年間過ごしてきただけに喜びもひとしおだったようです。

**第10回アジア体操競技選手権大会 (日本代表選手)**

**団体総合2位** あん馬 3位

**津村涼太さん**

体操競技部からはもう一人、津村涼太さん(スポーツ総合課程3年、暁高等学校・三重)も「第77回全日本体操種目別選手権」に出場しました。津村さんは予選を1位で通過したあん馬で決勝は落下してしまい、残念ながら5位という結果に終わってしまいました。6月15日からシンガポールで開催された「第10回アジア体操競技選手権大会」に日本代表として出場、団体総合2位、あん馬3位の成績を収め、オリンピックへの階段を一步上りました。

鹿屋体育大学に「オリンピックで金メダル」「全日本インカレで団体優勝」という目標を持って入学してきた、と言う津村さん。「優秀な先輩方

を見て、刺激をもらうことで自分も伸びていったらいいな」と、未来への手応えを感じました。

津村さんも、全日本インカレの種目別あん馬で頂点に立ち、創部以来個人総合最高順位の4位も受賞しました。

鹿屋体育大学ビジョン「NIFS NEXT30」PVが完成!

[https://youtu.be/\\_tkNjGxL\\_g4](https://youtu.be/_tkNjGxL_g4)

2024大学案内「Kanoya」発行

2024年の受験生を対象にした大学案内「Kanoya」が発行されました。例年イラストで課外活動を表現した表紙が注目を集めていますが、今年は柔道と漕艇部(裏表紙)をこれまでとはまた違ったインパクトのあるデザインで表現しました。

今回からプロのスポーツカメラマンを起用し、写真を多く使うなどデザインも一新。受験生必携の1冊になっています。

2024年の受験生を対象にした大学案内「Kanoya」が発行されました。例年イラストで課外活動を表現した表紙が注目を集めていますが、今年は柔道と漕艇部(裏表紙)をこれまでとはまた違ったインパクトのあるデザインで表現しました。

今回からプロのスポーツカメラマンを起用し、写真を多く使うなどデザインも一新。受験生必携の1冊になっています。

A.C.E. KANOYAになる

本学では、鹿屋体育大学ビジョン「NIFS NEXT30」の目標のひとつである「A.C.E. KANOYA(エース鹿屋)のプロモーションビデオを新たに作成し、YouTubeに公開しました!

A.C.E. KANOYAとは、先導的かつ即

戦力となる人材(Active)「スポーツ界のオピニオンリーダー(Creative)」「国際大会で活躍するアスリート(Elites)」の略称です。今後も学生の指導と育成に取り組みまいります。

福岡で開催された世界水泳に興味本位で見に行ってみた。私が見たのはパティンからアーティスティックスイミング(AS)の新種目となるチーム・アクロバットルーティン(AR)の予選。予選だったため席は自由席でお値段は3000円。めちゃくちゃ安い!▼世界水泳のASの会場は、アーティストがよくライブを行うマリメッセ福岡。もともとプールのない会場なのだが、その中央に立派なプールがドーンと鎮座する圧巻の光景にまずは感動した。仮設とは思えないあれだけの設備、さすがが世界大会だ!▼ASの演技に欠かせない音楽はライブ会場として使われる強みを生かした迫力のある音響、合間も飽きさせないような映像演出、何よりこの新種目のARの迫力がすごかった。予選に出場した全19カ国それぞれの特色のある演技もさることながら、男子選手が入ることで生まれる高さやパワー。圧倒されっぱなしの時間だった▼また、会場周辺にはスポンサー企業のPRブースが立ち並び、いろいろな試供品や試飲・試飲を楽しむことができ、大満足の世界水泳だった。やはり非日常の空間というのはとても刺激的で楽しい。そしてスポーツには人を元気にする力がある。改めて実感することができた▼鹿屋島では今年かごしま国体・かごしま大会が行われる。国内最大のスポーツイベント。さて、どの競技を見に行こうか。(T.C)

スポーツを愛する すべての人とともに

ミズノスポーツ振興財団は、スポーツの振興・普及を目指し、スポーツを愛する人たちを応援しています。

公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団

### 卒業生 Interview 北九州マラソンの生みの親



#### 北九州市国際スポーツ大会推進室次長 4期生 山根 英明さん

【Profile】やまね・ひであき。昭和44(1969)年1月26日生まれ。福岡県北九州市出身。福岡県立小倉西高等学校から鹿屋体育大学に進学、平成3年3月卒業。民間企業勤務を経て、平成7年、北九州市入職。平成23年から27年まで市民文化スポーツ局スポーツ振興課及び総務企画局市制50周年記念事業推進室に北九州マラソン担当係長として就任し、平成26年2月に北九州マラソン第1回大会を実現させた。

「北九州マラソンの生みの親」と呼ばれるのは、4期生の山根英明さんだ。小倉城、門司港など北九州市の名所を1万人超のランナーが駆け抜ける大会は、今年節目の10回目を迎えた。エイドステーションには名物「小倉牛」も並び、全国的評価も高い。「いいところなんですよ」とはかんだ笑顔を見せるが、その背景には全国のいくつものマラソン大会にランナーとして走り、視察した、血と汗と涙の結晶の秘話が隠されている。令和元年10月には本学陸上競技場で開催された「みんなのタイムトライアル2019」にも参加、自身が手に入れた賞品を辞退して陸上競技部にプレゼントし、筆者の中では「卒業生の鑑」として記憶に残っていたひとでもある。今年も日本初のブレイキングのワールドシリーズをはじめ、多くのスポーツイベントを手掛けた。生まれ育った街をもっと楽しくするために、行政マンの枠を超えた山根さんの挑戦は終わらない。

鹿屋体育大学に進学したのは？  
山根 高校の体育の先生になりたかったからです。でも地元福岡県では平成2年に第45回国民体育大会(とびうめ国体)があり、その前に体育の教員をたくさん採用するので、ひょっとしたら平成3年度はあまり採用がないかもしれないという不安がありました。それで福岡教育大学にも合格していたのですが、一般企業にも就職しやすいであろう鹿屋体育大学の方を選びました。  
山根 北九州市役所には中途採用で入られたんですね。  
山根 大学卒業後は日立系のソフトウェアの会社に入社したのですが、2、3年したら九州支社に戻ってこられるということで入社を決めたんです。ところが平成5年くらいにバブルがはじけてしまっただけで、地方には管理部門は置かなくなるといって、40歳になるまで、このマラソン大会に参加して走ってみたいと思って、そのときに選んだのがいぶすきだったんです。学生時代に所属していた野川ゼミで、菜の花マラソンの現場に行ってアンケートを取り、大会の分析をしていたので存在は知っていました。実際に参加してみたら、幼い子どもからお年寄りまで沿道で一生懸命応援してくれて人のぬくもりを感じるとてもいい大会だったので、そのとき「北九州でもこんな大会ができたらいいな」と思っていました。タイミングよく市制50周年記念事業に向けたアイデアの公募があって、マラソン大会の企画書をつくって応募したところ、アイデア賞に選ばれました。その後、マラソンが本当にできるかどうかを検討する担当係長の公募に手を挙げて就任しました。

そのときに選んだのがいぶすきだったんです。学生時代に所属していた野川ゼミで、菜の花マラソンの現場に行ってアンケートを取り、大会の分析をしていたので存在は知っていました。実際に参加してみたら、幼い子どもからお年寄りまで沿道で一生懸命応援してくれて人のぬくもりを感じるとてもいい大会だったので、そのとき「北九州でもこんな大会ができたらいいな」と思っていました。タイミングよく市制50周年記念事業に向けたアイデアの公募があって、マラソン大会の企画書をつくって応募したところ、アイデア賞に選ばれました。その後、マラソンが本当にできるかどうかを検討する担当係長の公募に手を挙げて就任しました。

「実現するまでには壁がたくさんあったか。」  
山根 一番大変だったのは警察との協議と陸上競技協会との調整で、毎週日曜日は陸上競技場の本部に顔を出して話をしていましたね。民間会社が作成したコース案を持って警察に相談に行ったりして、1からコースをつくることになり、当時は部下もいなかったんです。真夏の暑い中2カ月間、日によっては50℃以上デジカメ片手に道幅や高低差を確認しながらママチャリで市内を走り回りました。また、全国で開催しているマラソン大会に実際にランナーとして走ったり、視察したりして研究も重ねました。

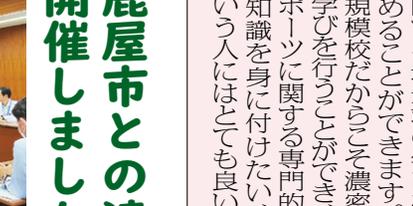
「そこでできたのは、使命感？」  
山根 そんなカッコいいもんでもないですけど、ただやりたいなって思っただけですね。マラソンで北九州がひとつになれたらいいなあって。  
山根 初回の大会を無事に終えて、帰宅してから見たSNSに涙が止まらなかつたか。  
山根 感謝の書き込みがたくさん書かれていて、それを目にした時の感覚は役所人生の中でもう二度と体験することができないと思います。やってよかったと思えましたね。ところで、山根さんにとって母校鹿屋はどんな存在ですか？  
山根 若い頃と比べて、今の方が大学に対する思い入れも強くなったと感じています。現役の学生がスポーツで活躍しているシーンとかを新聞で見ると、やはりうれいんですね。コロナで福岡県人も中止していたのですが、徐々に再開できるのではと思っています。

### 鹿屋市との連携協議会を開催しました！



令和5年度国立大学法人鹿屋体育大学と鹿屋市との連携協議会が、7月21日に本学で開催されました。本協議会は、相互の人的・知的資源の交流・活用を図り、緊密な連携・協力関係の構築を目的とした連携協定に基づき毎年実施されています。協議会の冒頭で、金久博昭学長から、新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いたこともあり、鹿屋市との連携をさらに深めていきたいとの思いが伝わりました。また、中西茂鹿屋市長からは、連携協議会が発足されて13年の経緯に触れ、スポーツ合宿まちづくり推進事業において多くのトップアスリート等の合宿が鹿屋市で行われ、県内におけるスポーツ合宿者数が2年連続で1位であったことへのお礼の言葉と「燃ゆる感動がこしま国体」において本学学生の活躍への期待及び市民総出でのおもてなしを行いたい旨が述べられました。そのほかBlue Winds事業等の連携事業についての報告もあり、鹿屋らしい大規模スポーツイベントの構築について活発な意見交換が行われました。

### 令和5年度「第1回オープンキャンパス」を開催！



7月15日と16日に令和5年度「第1回オープンキャンパス」を開催しました。15日には大学の説明、16日には体験授業が行われました。このオープンキャンパスは高校生、受験希望者(保護者を含む)、学校関係者を対象に、本学に入学することのよいことが学べるかなどを知ってもらうことを目的に毎年開催されており、全国各地から15日は243名、16日は212名の参加がありました。15日の大学説明では、初めに前田理事から「本学には充実した多くの施設があり、スポーツ科学に関する最先端の学びを深めることができます。小規模校だからこそ濃密な学びを行うことができ、スポーツに関する専門的な知識を身に付けたいという人にはとても良い環境です。ぜひ本日の説明会で本学の充実した環境を知ってください」と挨拶がありました。続いて、アドミッションセンター長の中本浩揮准教授から、充実したスポーツ実践環境、教育プログラム、学生生活、卒業後の進路及び入試に関する説明がありました。その後、在学生の藤原圭信さん(スポーツ総合課程1年)、第二高等学校・熊本、和田龍真さん(武道課程2年)、大分鶴崎高等学校・大分、乾菜奈さん(スポーツ総合課程3年)、鹿児島女子短期大学・鹿児島)の3人からは、受験の動機や受験対策、入学後の学生生活の過ごし方、研究内容、入学して良かったことなどのアドバイスがありました。次に、実験・実習体験及び体育施設の見学が行われ、参加者からは「施設や設備が充実しているのが分かり、実際に参加して良かった」という声が多く聞かれました。閉会後には希望者を対象とした個別相談会もありました。翌16日には「トレーニング科学」と「テーピング実技」の2つの体験授業も開催され、熱心に演習を行う姿や授業後に質問を行う姿も見られました。

kotobuki Driving School 寿自動車学校  
★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎 忙しい学校生活の強い味方です!!  
★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます  
心豊かな車社会を願う 運転免許のことなら 寿自動車学校  
ご予約・お問い合わせ TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp  
〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30 県公安委員会指定教習所(技能試験免除) ホームページURL: http://kotobuki-ds.jp

Kubota 農業機械 株式会社 三ツ木商会  
http://www.mizuho.kubota.ne.jp  
〒893-0009 鹿児島県鹿屋市大手町12番1号  
TEL (0994) 43-4178 FAX (0994) 44-9371  
【営業所】 鹿屋・高山・志布志・岩川・牧之原・野方・垂水・大根占

汲取の御注文 浄化槽の管理  
水質保全に 全力投球  
鹿屋市許 株式会社 西日本浄化サービス  
代表取締役 田中ふみ子 鹿屋市王子町4531-2 TEL (0994) 43-3425

あなたの町に、レモンガス  
株式会社レモンガスがこしま 鹿屋支店  
鹿屋市大浦町11423番地1 0994-42-2181



# 令和6年度鹿屋体育大学入学者選抜日程

体育学部	総合型選抜(SS)入試	学校推薦型選抜	一般選抜	特別選抜 (帰国生徒・社会人)	私費外国人留学生入試	第3年次編入学試験	
募集 人員	スポーツ総合課程	10人	50人	60人	若干人	若干人	20人
	武道課程	5人	20人	25人	若干人	若干人	
出願期間	令和5年 9月1日(金)～9月15日(金)	令和5年 11月1日(水)～ 11月6日(月)	令和6年 1月22日(月)～ 2月2日(金)	令和5年 11月1日(水)～ 11月6日(月)	令和6年 1月22日(月)～ 1月31日(水)	令和5年 7月27日(木)～ 8月1日(火)	
選抜期日	第1次選考：令和5年9月1日(金) ～9月15日(金) 第2次選考：令和5年10月19日(木)	令和5年 11月21日(火)・ 11月22日(水)	令和6年 2月25日(日)・ 2月26日(月)	令和5年 11月21日(火)・ 11月22日(水)	令和6年 2月25日(日)・ 2月26日(月)	令和5年 8月21日(月)・ 8月22日(火)	
本学が実施 する試験	第1次選考：競技歴及び意欲等審査 第2次選考：「プレゼンテーション+口頭 試問」試験、健康診断	小論文、面接、 実技検査	「プレゼンテーション +口頭試問」試験、 実技検査	小論文、面接、 実技検査	小論文、面接、 実技検査	小論文、面接、 運動能力検査	
合格者発表	令和5年11月1日(水)	令和5年12月1日(金)	令和6年3月6日(水)	令和5年12月1日(金)	令和6年3月6日(水)	令和5年8月31日(木)	

※出願資格、出願書類、選抜方法等の入学者選抜に関する詳細については、大学公式ホームページでご確認ください。

入試に関する  
問い合わせ先

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地 鹿屋体育大学教務課入試係  
E-Mail: nyushi@nifs-k.ac.jp TEL: 0994-46-4869 FAX: 0994-46-2533  
公式ホームページ <https://www.nifs-k.ac.jp/>

## 闘いの記録 (令和5年6月～7月)

### 【陸上競技部】

- 第107回日本陸上競技選手権大会  
(6/1～4 大阪/ヤンマースタジアム長居)  
▽男子 800m 5位 佐藤 主理  
三段跳 8位 水野 皓太  
砲丸投 7位 池田 大晟
- 秩父宮賜杯第76回西日本学生陸上競技対校選手権大会  
(6/16～18 岐阜/岐阜メモリアルセンター長良川競技場)  
▽男子 200m 2位 山下 昌峻  
3000mSC 1位 大園 倫太郎  
3位 大島 大青  
十種競技 2位 山崎 時弥

### 【硬式野球部】

- 第72回全日本大学野球選手権大会  
(6/5～11 東京/明治神宮野球場・東京ドーム)  
▽男子 ベスト8 鹿屋体育大学

### 【テニス部】

- 第73回(令和5年度)九州地区大学体育大会  
(6/17～19 福岡/グローバルアリーナ)  
▽女子 団体 1位 鹿屋体育大学

### 【男子バレーボール部】

- 九州大学ビーチバレー男女選手権大会  
(7/15～16 熊本/芦北マリパークビーチ)  
▽女子の部(男子バレーボール部所属) 1位 松村、熊澤

- ジャパンビーチバレーボールツアー2023アンダーエイジ九州  
(7/29～30 佐賀/西の浜)  
▽男子 7/29(1日目) 1位 八木、井上  
7/30(2日目) 1位 八木、井上

### 【体操競技部】

- 第73回西日本学生体操選手権大会  
(6/3～4 兵庫/グリーンアリーナ神戸)  
▽男子 団体総合 1位 鹿屋体育大学  
個人総合 1位 金田 希一  
2位 富岡 浩輝  
3位 花木 拓弥  
種目別ゆか 2位 田邊 友唯  
3位 富岡 浩輝  
種目別つり輪 1位 金田 希一  
3位 富岡 浩輝  
種目別平行棒 1位 金田 希一  
2位 岡 倫太郎  
3位 植村 結衣
- ▽女子 種目別平均台 1位 鹿屋体育大学
- 第77回全日本体操種目別選手権  
(6/10～11 東京/国立代々木競技場第1体育館)  
▽男子 つり輪 1位 金田 希一  
あん馬 5位 津村 涼太
- 第10回アジア体操競技選手権大会(6/15～18 シンガポール)  
▽男子 種目別あん馬 3位 津村 涼太  
団体総合 2位 津村 涼太  
※他団体選手と出場
- 令和5年度国民体育大会第43回九州ブロック大会  
(7/16 大分/サイクルショップコマ大洲アリーナ)  
▽男子 団体総合 1位 田邊 友唯  
※他団体選手と出場

### 【水泳部】

- 第70回九州地区国公立大学選手権水泳競技大会  
(6/10～11 福岡/グローバルマーケットアクアパーク桃園)  
▽男子 50m自由形 1位 市村 優弥  
100m自由形 1位 市村 優弥  
200m自由形 1位 水上 瑠日  
400m自由形 1位 水上 瑠日  
1500m自由形 1位 野田 京聖  
100m背泳ぎ 1位 中園 剛志  
200m平泳ぎ 1位 榎田 大己  
100mバタフライ 1位 萬燈 祐仁  
200mバタフライ 1位 前原 優真  
200m個人メドレー 1位 杉浦 涼一  
400m個人メドレー 1位 杉浦 涼一  
4×100mフリーリレー 1位 水上、坂本、市村、井上  
4×200mフリーリレー 1位 横山、坂本、岩切、水上  
4×100mメドレーリレー 1位 中園、榎田、萬燈、横山
- ▽女子 50m自由形 1位 久保田 梨琉  
100m自由形 1位 久保田 梨琉  
200m自由形 1位 津隈 由子  
400m自由形 1位 津隈 由子  
200m背泳ぎ 1位 宮崎 菜々子  
200m平泳ぎ 1位 小松 千紗  
100mバタフライ 1位 後野 真衣  
200mバタフライ 1位 後野 真衣  
200m個人メドレー 1位 岡 莉子  
400m個人メドレー 1位 岡 莉子  
4×50mフリーリレー 1位 伊藤、久保田、仲田、田中  
4×100mフリーリレー 1位 伊藤、久保田、瀨津、津隈  
宮崎、小松、後野、津隈

### 【水泳部】

- 第83回九州学生選手権水泳競技大会(7/8～9 鹿児島/鴨池公園水泳プール)  
▽男子 50m自由形 1位 市村 優弥  
200m自由形 1位 坂本 春空  
400m自由形 1位 水上 瑠日  
100m平泳ぎ 1位 榎田 大己  
200m平泳ぎ 1位 榎田 大己  
4×100mフリーリレー 1位 市村、坂本、横山、水上  
前原、坂本、岩切、水上  
4×200mフリーリレー 1位 久保田 梨琉  
久保田 梨琉  
津隈 由子  
瀨津 菜々美  
後野 真衣  
後野 真衣  
岡 莉子  
岡 莉子  
有村、津隈、久保田、伊藤、津隈、後野、瀨津、岡
- ▽女子 50m自由形 1位 久保田 梨琉  
100m自由形 1位 久保田 梨琉  
200m自由形 1位 津隈 由子  
400m自由形 1位 津隈 由子  
800m自由形 1位 瀨津 菜々美  
100mバタフライ 1位 後野 真衣  
200mバタフライ 1位 後野 真衣  
200m個人メドレー 1位 岡 莉子  
400m個人メドレー 1位 岡 莉子  
4×100mフリーリレー 1位 有村、津隈、久保田、伊藤、津隈、後野、瀨津、岡

### 【水泳部】

- 4×100mメドレーリレー 1位 宮崎、小松、後野、久保田
- 【柔道部】
- 第55回九州ジュニア柔道体重別選手権大会  
(7/2 福岡/福岡武道館)  
▽男子 66kg級 1位 山口 愛斗
- 【剣道部】
- 第71回全日本学生剣道選手権大会  
(7/2 東京/日本武道館)  
▽男子 1位 木村 恵都
- 【自転車競技部】
- 2023年九州自転車競技選手権大会  
(7/15～17 佐賀/武雄競輪場・熊本/HSR九州サーキット)  
▽男子 スプリント 1位 小谷 寛待  
チーム・スプリント 1位 福永 隼人  
※他団体選手と出場
- 第63回全日本学生選手権トラック自転車競技大会  
(7/1～2 静岡/伊豆ベロドローム)  
▽男子 スプリント 8位 小谷 寛待  
スクラッチ 3位 並江 優作  
6位 福迫 倅輔  
4kmインディヴィデュアル・パシュート 6位 伊澤 将也  
ポイント・レース 3位 梅澤 幹太  
5位 津留 峻  
マディソン 2位 伊澤 梅澤  
6位 津留、福迫  
タンデム・スプリント 5位 石田、香西  
6位 並江、福永  
▽女子 スプリント 3位 中西 美央  
4位 年見 穂風  
500mタイムトライアル 2位 中西 美央  
6位 年見 穂風  
3kmインディヴィデュアル・パシュート 3位 岩元 美佳  
ポイント・レース 2位 岩元 美佳  
5位 岩元 美佳  
3位 岩元、川本

4×100mメドレーリレー 1位 宮崎、小松、後野、久保田

【柔道部】

■第55回九州ジュニア柔道体重別選手権大会 (7/2 福岡/福岡武道館)

▽男子 66kg級 1位 山口 愛斗

【剣道部】

■第71回全日本学生剣道選手権大会 (7/2 東京/日本武道館)

▽男子 1位 木村 恵都

【自転車競技部】

■2023年九州自転車競技選手権大会 (7/15～17 佐賀/武雄競輪場・熊本/HSR九州サーキット)

▽男子 スプリント 1位 小谷 寛待

チーム・スプリント 1位 福永 隼人

※他団体選手と出場

■第63回全日本学生選手権トラック自転車競技大会 (7/1～2 静岡/伊豆ベロドローム)

▽男子 スプリント 8位 小谷 寛待

スクラッチ 3位 並江 優作

6位 福迫 倅輔

4kmインディヴィデュアル・パシュート 6位 伊澤 将也

ポイント・レース 3位 梅澤 幹太

5位 津留 峻

マディソン 2位 伊澤 梅澤

6位 津留、福迫

タンデム・スプリント 5位 石田、香西

6位 並江、福永

▽女子 スプリント 3位 中西 美央

4位 年見 穂風

500mタイムトライアル 2位 中西 美央

6位 年見 穂風

3kmインディヴィデュアル・パシュート 3位 岩元 美佳

ポイント・レース 2位 岩元 美佳

5位 岩元 美佳

3位 岩元、川本



硬式野球部が鹿屋市役所で第72回全日本大学野球選手権大会の報告会

第72回全日本大学野球選手権大会においてベスト8及び特別賞を受賞した硬式野球部が、鹿屋市役所で報告会を行いました。硬式野球部が全国規模の大会に出場するのは、1984年の創部以来初めてのことです。九州の国立大学初の8強入りを果たしました。国立大学の同大会2勝は、1998年の京都教育大学、2010年の北海道大学に続く快挙でした。スポーツ少年団や鹿屋市民、職員に迎えられて市役所を訪れた硬式野球部の学生は、改めて全国大会での活躍をかみしめているようでした。中西茂鹿屋市長からは「市民に夢と希望と感動を与えていただきます」とねぎらいの言葉がかけられました。心からたたえたいと思は、選手たちが全国で勝てるチームを作ろう」という目標のもと努力をしてきたからだと思います。今まで在籍した先輩が作り上げたチームの雰囲気、素晴らしい施設、応援してくださる鹿屋市民のみなさまの支えがあったおかげです」と感謝のコメントがありました。主将の原俊太さん(スポーツ総合課程4年、済々黉高等学校・熊本)は「今回の結果に満足することなく、さらなるレベルを目指していきます」と、部員一人一人も頑張っていくと決意を述べました。最後に、サプライズとして鹿屋市から黒牛の贈呈があり、部員から歓声が沸き起こりました。

鹿屋市役所から黒牛の贈呈があり、部員から歓声が沸き起こりました。最後に、サプライズとして鹿屋市から黒牛の贈呈があり、部員から歓声が沸き起こりました。

### 授業料の納付について

令和5年度後期分授業料は、下記のとおり銀行口座引落を行いますので、よろしくお願いいたします。

1. 銀行口座引落日 10月27日(金)  
※前日までに引落口座へ預金してください。
2. 授業料(半期分)：267,900円
3. 問い合わせ先 鹿屋体育大学  
経営戦略課会計室出納係 TEL 0994-46-4841

鹿屋体育大学ではこの「蒼天」や公式ウェブサイト、その他SNS等を通して広く皆様へ本学の活動情報をお知らせしております。ご覧になってのご意見、その他鹿屋体育大学の教育研究活動等へのご意見がございましたら、今後の運営・活動の参考にさせていただきますのでぜひお寄せください。

ご意見・アンケートは右記二次元コードからweb入力できます。

鹿屋体育大学へのご意見をお寄せください。

鹿屋体育大学・学園祭

# 蒼天祭

2023.11.11(土)～12(日)開催